



海外研修KYOのあけぼの会
会長 田中 田鶴子

ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。

当機関紙「てるびと」も1994年12月の創刊から15号の節目を迎えることとなりました。これもひとえに、多くの方々のご理解とご協力があったることと感謝いたしております。

ご承知のことと存じますが、「てるびと」とは、インドネシア語で“あけぼの”という意味があります。また、表題「てるびと」の文字は、光栄にも当時の京都府知事・荒巻禎一様より直筆を頂戴することができ、創刊以来、その文字を使わせていただいております。優しさの中にも力強さを感じる「てるびと」の文字から、私たちはいつも大きなパワーをいただいているような気がいたします。

そして、はからずも今年、インドネシア・ジョグジャカルタ特別区を訪問する「インドネシア・バリ」の旅を計画しております。ジョグジャカルタ特別区は、京都府と友好提携を1985年(昭和60年)に

結んでいる都市で、京都の伝統産業、西陣織、京友禅などの技術交流や協力が行われるなど、京都府とは大変関係が深く、インドネシアの古都としてボロブドゥール、プランバナンなどの世界遺産を誇る地域でもあります。「てるびと(あけぼの)」の語源もたどりつつ、充実した研修となるよう幹事一同準備を進めておりますので、ご友人などお誘い合わせのうえご参加いただければ幸いに存じます。

また、今年秋には、京都府と京都市、京都商工会議所の共同開催で、京都産業の優れた技術や製品、日本を代表する文化や芸術、洗練された食やもてなし文化など、多くの人々が楽しめる「京都知恵と力の博覧会」(仮称)の開催が計画されております。日本を代表する京都の「知恵」と「力」を改めて内外にアピールし、元気な京都づくり、日本づくりにつながる事業として成功することを願っているところでございます。皆様もどうかこの博覧会にご注目いただければ幸いです。

最後になりましたが、私たちの活動が国際交流と女性のネットワーク作りのために、今後も皆様と一緒に活動が展開できればと存じます。どうぞよろしく願いたします。



京都府府民生活部男女共同参画監
長濱 英子

ごあいさつ

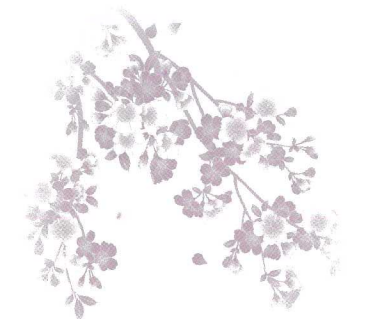
が拡大している今、地域を元気にする女性の活躍がますます期待される所です。そして、女性も男性もいきいきと活躍することができる男女共同参画社会の実現こそが、「地域力の再生」の大きな力になると考えております。

今後とも地域社会のリーダーとして、京都府の男女共同参画社会の実現に御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

海外研修KYOのあけぼの会の皆様方には、日頃から、京都府の男女共同参画の推進に格別の御支援と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

会員の皆様におかれましては、昨年は「世界遺産石見銀山」を訪れ、世界遺産登録に関わってこられた女性の講演等を聴き、女性が古くから深く地域づくりに貢献してきたことや、次の世代に伝えるための自然と人間の関わりなど、環境保全について研修されました。KYOのあけぼのフェスティバルでは、その成果を京都の未来につなげるために、多彩な特性を持つ「京都」の魅力は今後どのように地域づくりに役立てるかについて、学習を深められました。

京都府では、一昨年より「地域力の再生」を目標に掲げ、皆さまとともに積極的に取組を進めて参りました。国においても女性が中心的役割を果たす地域活動の重要性が取り上げられており、世界的な金融危機による景気の後退から生活への不安感



2008年度総会・研修会

●日時：平成20年4月4日(金)11:00～15:30 ●場所：宇治市 鮎宗

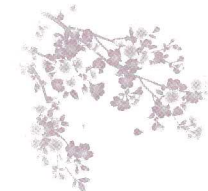
総会

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 来賓祝辞
5. 議長選出
6. 議事
 - ①2007年度事業報告
 - ②2007年度決算報告
 - ③2007年度監査報告
 - ④2008年度事業案(審議)
 - ⑤2008年度予算案(//)
 - ⑥役員改選
 - ⑦その他

研修会

「源氏物語千年紀によせて」
— ゆかりの地散策 —

- お話し「宇治十帖」 宇治観光ボランティアガイドクラブ代表 越村 春枝 先生
- 源氏物語ミュージアム・宇治上神社



表題「てるびと」は、前京都府知事荒巻禎一様の直筆で、インドネシア語(京都府友好国「あけぼの」の意味です。京都府に息づく豊かな自然の美しさ、「花」にだけ桜さが菊。「木」北山杉。「鳥」オオミズナギドリ。を戸塚フミンス刺しゅうで表現したものを表紙絵としてごま。

春の総会・研修会

桜花爛漫の宇治川の畔に35名の出席を得て開催。19年度事業及び決算報告、20年度事業及び予算について審議。昼食会。

午後は源氏物語千年紀にちなみ、「宇治十帖」についてお話を聞きました。越村先生は「宇治十帖」は宇治川なくしては生まれなかったと、源氏物語の魅力をお話くださいました。その余韻に浸りつつ、宇治川に浮かぶ屋形船を眺め、世界遺産宇治上神社と源氏物語ミュージアムへ。皆様との交流が深まった一日となりました。



お話し・越村春枝 先生

